

J R 羽越本線列車事故について（第 1 3 報・最終報）

下線部分は前報からの追加・修正箇所

平成 17 年 12 月 31 日 18:30 現在
総務部危機管理室総合防災課

1 事故の概要等

12 月 25 日 19 時 14 分頃、J R 羽越本線の北余目駅（庄内町）～砂越駅（酒田市）間の最上川橋梁から南側へ約 300m 地点（庄内町内）において、秋田発新潟行上り特急列車「いなほ 1 4 号」（6 両編成）の脱線事故（6 両脱線、うち 6・5・4 号車の 3 両横転）が発生した。

事故原因については、調査中である。

2 事故被害の概要（31日16時00分現在）

区 分	人数	摘 要	
列車乗車人数	45 名	乗客：42 名、運転士 1 名（負傷）、車掌 1 名（怪我なし）、車内販売員 1 名（負傷）	
人的被害	死傷者	37 名	
	死者	5 名	女性 3 名 51 歳、28 歳、22 歳 男性 2 名 42 歳、34 歳
	負傷者	32 名	搬送先 庄内余目病院 13 名（男性 10 名、女性 3 名） うち入院治療 6 名（男性 5 名、女性 1 名） 県立日本海病院 12 名（男性 8 名、女性 4 名） うち入院治療 11 名（男性 7 名、女性 4 名） 市立酒田病院 7 名（男性 7 名） うち入院治療 7 名（男性 7 名） 県立日本海病院 12 名には、庄内余目病院からの転院 1 名（男性）分を含む。 入院治療：入院治療を行った者の数であり、現在の入院治療者の数とは異なる。
怪我なし	8 名	7 名（男性 4 名、女性 3 名）は、庄内警察署で一時保護後、全員帰宅 1 名（男性）は、庄内余目病院に搬送されたが、治療の必要なく帰宅	

3 消防機関の救急・救助の対応

（1）消防本部等の出動状況（31日16時00分現在）

酒田地区消防組合消防本部	88 隊	376 名		
県消防広域応援隊等	69 隊	279 名	合計	延 157 隊 655 名

（2）これまでの活動状況

25・26 日 酒田地区消防（63 隊 213 名）及び県消防広域応援隊（鶴岡地区消防、最上広域消防、山形市消防、尾花沢市消防、西村山広域消防、村山市消防、東根市消防及び天童市消防 32 隊 123 名）の計 95 隊 336 名により対応し、負傷者については、県立日本海病院、市立酒田病院及び庄内余目病院に搬送した。

27 日 酒田地区消防（7 隊 21 名）、県消防広域応援隊（山形市消防、上山市消防、米沢市消防、南陽市消防、高畠町消防、川西町消防、西置賜消防、鶴岡地区消防 8 隊 38 名）及び県消防防災航空隊（1 隊 6 名）の計 16 隊 65 名により捜索・救助活動を行った。
（6 号車の下部を手掘りにより掘削しながら捜索活動を実施し、要救助者を発見・収容）

28 日 酒田地区消防（7 隊 32 名）及び県消防広域応援隊（鶴岡地区消防、最上広域消防、尾花沢市消防 4 隊 15 名）の計 11 隊 47 名により捜索活動を継続して行った。
（大型クレーン車で 5 号車、6 号車の順に吊り上げ移動後、順に横転跡地を手掘りにより掘削しながら捜索活動を実施。5 号車内及び横転跡地からは何も発見されず、さらに 24 時間体制で 6 号車内及び横転跡地も検索したが、要救助者なし。）

- 29日 酒田地区消防(3隊 37名) 県消防広域応援隊(山形市消防、天童市消防、西村山広域消防、村山市消防、東根市消防 6隊 28名)及び県消防防災航空隊(1隊 4名)の計10隊69名により捜索活動を継続して行った。
(大型クレーン車で3号車、4号車の順に吊り上げ移動後、車両内の捜索活動を実施したが何も発見されず。さらに24時間体制で3号車・4号車跡地面及び線路東側を捜索したが、要救助者なし。)
- 30日 酒田地区消防(4隊 48名)及び県消防広域応援隊(上山市消防、米沢市消防、南陽市消防、高島町消防、川西町消防、西置賜消防 7隊 32名)の計11隊80名により捜索活動を継続して行った。
(線路西側の捜索活動を実施したが何も発見されず。さらに24時間体制で捜索したが、要救助者なし。)
- 31日 酒田地区消防(4隊 25名) 県消防広域応援隊(山形市消防、天童市消防、西村山広域消防、村山市消防、東根市消防、尾花沢市消防、最上広域消防、鶴岡地区消防 9隊 30名)及び県消防防災航空隊(1隊 3名)の計14隊58名により最終的な捜索活動を行った。
(要救助者の有無を最終確認するため、警察170名、消防58名の体制で大規模な一斉合同捜索を実施したが、新たな要救助者の発見が無かったため、13時35分をもって捜索活動を終了した。16時に献花、黙とうを行う。)

4 鉄道の運転状況

- 羽越本線 25日19時14分～一部区間運転見合わせ
26日以降 合計50本/1日、29日以降 合計54本/1日
特急列車：鶴岡～酒田間 上り7本、下り11本、計18本
普通列車：鶴岡～酒田間 上り18本、下り18本、計36本
特急列車の区間：28日までは、あつみ温泉～酒田間
見合わせ区間については、バスによる代行輸送
- 陸羽西線 25日19時14分～一部区間運転見合わせ 26日以降 合計16本/1日
快速列車：余目～酒田間 上り2本、下り1本、計3本
普通列車：余目～酒田間 上り6本、下り7本、計13本
新庄～余目間で折返し運転、余目～酒田間は、バスによる代行輸送

5 山形県の対応

- 25日20時00分 ・危機管理監をトップにした警戒体制を配備し、情報収集
・庄内総合支庁より職員派遣、事故現場の現状確認及び情報収集
20時30分 ・県立日本海病院より事故現場へ医師派遣
20時45分 ・関係課長対策会議の設置を決定
20時52分 ・県立中央病院、災害派遣医療チーム(DMAT)待機(22時30分待機解除)
21時00分 ・県立日本海病院より事故現場へ医師等追加派遣
22時05分 ・第1回関係課長対策会議の開催
22時30分 ・庄内総合支庁より庄内警察署へ一時保護者のケアのため保健師派遣
22時30分 ・県立日本海病院より事故現場へ看護師等追加派遣
23時15分 ・第2回関係課長対策会議の開催
26日09時00分 ・第3回関係課長対策会議の開催
09時15分 ・庄内総合支庁 第1回関係課長会議の開催
13時00分～ 知事、危機管理室長及び総合防災課長による現地確認
27日13時30分 ・山形県からJR東日本に対して申し入れ
(JR東日本本社において、後藤副知事から橋口副社長外2名に、県知事名の申入書を読み上げのうえ手渡すとともに、趣旨を伝える。)
13時30分～ 危機管理監による現地確認
28日09時00分 ・庄内総合支庁 第2回関係課長会議の開催
16時00分 ・庄内総合支庁 第3回関係課長会議の開催
16時00分～ 被災者の皆さんへ「心の健康相談窓口(県3機関、県外3機関)」の周知(案内配付、県立鶴岡病院では12月29日～1月3日も相談受付)
・庄内～首都圏間等の交通手段の確保状況の周知(県HP)
31日16時00分 ・事故現場において県より献花・黙とう(危機管理監、庄内総合支庁長、総合防災課長等の出席)
18時30分 ・警戒体制の解除

6 市町村の対応

- | | | |
|-------------|------|--|
| 25日 20時00分～ | 鶴岡市 | 総務部長、危機管理担当職員等が登庁、情報収集 |
| 20時15分～ | 酒田市 | 市長、助役、総務部長、危機管理担当職員等が登庁、情報収集 |
| 20時45分～ | 庄内町 | 羽越本線列車脱線事故対策本部設置（本部長：町長） |
| 20時45分 | ・庄内町 | 第1回羽越本線列車脱線事故対策本部会議の開催 |
| 28日 09時00分 | ・庄内町 | 第2回羽越本線列車脱線事故対策本部会議の開催 |
| 13時00分 | ・庄内町 | 関係機関4者（警察・消防・JR・庄内町）及び航空・鉄道事故調査委員会による連絡会議へ出席 |
| 31日 16時00分 | ・庄内町 | 事故現場において町より献花・黙とう（町長等の出席） |

今後、特段の状況変化がない限り、これをもって列車事故に係る情報提供を終了させていただきます。
情報提供等に御協力くださった関係機関、各報道機関等にお礼申し上げます。